

福島大学 人間発達文化研究科 彫刻研究室 紹介のページ

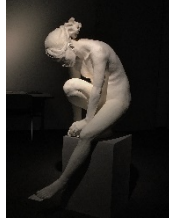
彫刻研究室 担当教授：新井浩

研究概要：彫刻分野について研究を行っています。また、彫刻設置事業の研究、初等中等教育における立体分野の教材研究を行っています。全国規模の展覧会での受賞や運営の経験、また学会発表や運営等の実績を生かして、多くのゼミ生が展覧会で受賞し、社会の様々な場面で活躍の場を広げています。



1. 修了研究

ゼミ生は主に木彫やテラコッタによる制作活動を行って、自身の力量を高めています。上の作品は全国展で複数回受賞し、キャリアを重ねている修了生の作品です。近年でも右図のように意欲や技量に優れた表現者を輩出し、それぞれの分野での活躍につながっています。また、副論文では研究概要に記した内容に関連する調査研究を行い、力量形成に努めています。



修了研究副論文題目例

- 「木彫表現における寄木の研究」
- 「中学校美術科における木彫題材の研究」
- 「彫刻におけるカエルを用いた表現の一考察」

在学生／修了生の声

「ゼミでは毎回テーマを一つ挙げ全員で意見交換をしたり、全員で作品鑑賞ツアーにいくなど様々な活動しています。」（在学生U.Mさん）

「作家や先生方と交流しながら、自分のペースで深く考え研究に取り組めることがこの領域の魅力だと思います。」（修了生K.Mさん）

2. 地域貢献活動 – 彫刻設置と共同制作 –

彫刻の制作や展覧会を通して、地域の活性化につなげています。二本松市にある幸田露伴にちなんだ露伴亭周辺には本ゼミ生の作品が多く設置されています。

共同制作を通して地域のニーズに応える表現の錬磨や、他者との協調や意見調整の仕方など、社会の活動に必要な力量が育ちます。



3. 立体教材の研究

図工・美術科で扱われる立体教材の研究を行っています。

右図は中学校美術科資料集に掲載された担当教員の作品制作の様子です。彫刻作品にどのような「思い」や「願い」が込められ、どんな道具で、どんな手順で制作されるかが記されています。



教員の主要受賞歴：国展／野島賞、新海賞、会友優作賞 昭和会／優秀賞 桜の森彫刻コクール／大賞
作品設置：秋田県国花苑〈蝶が舞う森〉米沢市上杉神社〈天地人像〉 郡山市龍角寺〈本堂欄間〉